

平成 30 年度 共通仕様書（土木工事編） 改正概要  
（平成 30 年 10 月 1 日改正）

1. 共通仕様書（土木工事編Ⅰ）

【全般】・準拠する要領の制定等に対応

| 番号 | 項目  | 内容  | 掲載頁                    |
|----|---|---|------------------------|
| 1  | 第 1 編 共通編<br>1-1-5 設計図書の<br>照査等                                 | 照査範囲の明確化のため追記<br><u>ただし、設計図書の照査範囲を超える資料の作成については、契約約款第 19 条によるものとし、監督員からの指示によるものとする。</u>                 | ( I ) 7                |
| 2  | 2-4-1 一般事項  | 適用すべき諸基準における適用年月の改正。<br>・「日本道路協会 道路橋橋示方書・同解説（Ⅳ下部構造編）（平成 29 年 11 月）」                                     | ( I ) 64               |
| 3  | 3-2-1 工場の選<br>定   | 名称の訂正<br>・「配合報告書」から「配合計画書」へ訂正<br><br>スランプの許容差の設定<br>・スランプ 3cm におけるスランプの許容差を「±1.0」に設定。                   | ( I ) 74<br>( I ) 76   |
| 4  | 3-11-1 一般事項   | マスコンクリートの定義を明示<br>・ <u>マスコンクリートの定義は「コンクリート標準示方書」の規定によるものとする</u>   | ( I ) 93               |
| 5  | 第 3 編 土木工事<br>共通編<br>1-2 適用すべき諸<br>基準<br>1-3-13 ポステン<br>ション桁製作工 | 適用すべき諸基準における適用年月の改正。<br>・「日本道路協会 道路橋橋示方書・同解説（Ⅰ共通編）（Ⅱ鋼橋・鋼部材編）（Ⅲコンクリート橋・コンクリート部材編）（Ⅳ下部構造編）（平成 29 年 11 月）」 | ( I ) 153<br>( I ) 169 |

| 番号 | 項目   | 内容  | 掲載頁  |
|----|--|---|--|
| 6  | 1~15-2<br>適用すべき諸基準   | 適用すべき諸基準の追加<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>日本みち研究所 補訂版道路のデザイン-道路デザイン指針(案)とその解説(平成29年11月)</u></li> <li>・ <u>日本みち研究所 景観に配慮した道路付属物等ガイドライン(平成29年11月)</u></li> </ul> | (I)342<br>(I)355<br>(I)371<br>(I)382<br>(I)394<br>(I)412<br>(I)424<br>(I)430<br>(I)437<br>(I)440<br>(I)444<br>(I)448<br>(I)452<br>(I)454<br>(I)481 |
| 7  | <u>第5編 河川編</u><br>4-2 適用すべき諸基準<br>5-2 適用すべき諸基準<br>7-2 適用すべき諸基準 | 適用すべき諸基準における適用年月の改正。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「日本道路協会 道路橋橋示方書・同解説 (I 共通編) (II 鋼橋・鋼部材編) (III コンクリート橋・コンクリート部材編) (IV 下部構造編) (平成29年11月)」</li> </ul>             | (I)557<br>(I)573<br>(I)651   |
| 8  | <u>第10編 参考資料</u><br>2-9 県産材証明機関一覧                              | 県産材証明機関一覧の改正。   | (I)727<br>(I)728   |

2. 共通仕様書(土木工事編Ⅱ) (※番号下の※については、新旧表を添付)

【全般】・平成30年度より、ICT 浚渫工(河川)及びICT 舗装工(コンクリート舗装)においてもICT技術の全面的な活用を推進することから、3次元データによる面的な出来型管理基準を規定。

・準拠する要領の制定等に対応

| 番号       | 項目   | 内容  | 掲載頁   |
|----------|--|---|---|
| ●出来形管理基準 |  |   |   |
| 8        | 1-2-3-3-1,2<br>盛土工<br>1-2-3-3-4<br>補強盛土工<br>1-2-3-5<br>法面整形工<br>1-2-3-6<br>堤防天端工<br>1-2-4-2-1,2<br>掘削工<br>1-2-4-3-1,2<br>路体盛土工<br>路床盛土工<br>3-1-6-7~12<br>一般舗装工 | <p>準拠する要領の制定等に対応。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・TS等光波方式を用いた出来形管理要領(土工編)(案)</li> <li>・TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)</li> <li>・RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(土工編)(案)</li> <li>・地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)</li> <li>・空中写真測量(無人航空機)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)</li> <li>・無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)</li> <li>・地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)</li> <li>・地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)</li> <li>・TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)</li> <li>・地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)</li> <li>・TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)</li> </ul> | (Ⅱ)4<br>(Ⅱ)34-35<br>(Ⅱ)36-37<br>(Ⅱ)38-39<br>(Ⅱ)40-41<br>(Ⅱ)76-141 |
| 9        | 3-1-6-7~12<br>一般舗装工  | <p>幅に関する測定基準の追記</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ただし、幅は設計図書の側点によらず延長80m以下の間隔で測定することができる。</li> </ul>  | (Ⅱ)76-141   |
| 10       | 3-2-6-13<br>コンクリート舗装(面管理)  | 新規  | (Ⅱ)122-143  |

| 番号 | 項目   | 内容   | 掲載頁        |
|----|--|--|------------|
| 11 | 3-1-16-3-2<br>浚渫運転工<br>(面管理)                 | 新規   | (Ⅱ)194-195 |
| 12 | 4-1-11-4<br>落石防止網工                           | 管理基準軸外規格値の変更<br>・規格値を「±500」から「 <u>±500</u> 」へ変更。       | (Ⅱ)198     |
| 13 | 6-1-5-6<br>6-1-6-4<br>海岸コンクリートブロック工<br>(護岸工) | 工種名称の明確化<br>・「海岸コンクリートブロック工」から「海岸コンクリートブロック工(護岸工)」へ変更。 | (Ⅱ)250     |
| 14 | 6-2-6-3<br>根固めブロック工                          | ・乱積み、層積みにおける測定基準の明確化                                   | (Ⅱ)262～263 |
| 15 | 6-2-7-3<br>消波ブロック工                           | ・乱積み、層積みにおける測定基準の明確                                    | (Ⅱ)262～263 |

| 番号      | 項目           | 内容  | 掲載頁        |
|---------|--------------|---|------------|
| ●品質管理基準 |              |   |            |
| 16      | 1_セメントコンクリート | スランプの許容差の設定<br>・スランプ 3cm におけるスランプの許容差を「 <u>±1.0</u> 」に設定。<br><br>スランプ試験の試験基準を、「荷下ろし時」に訂正。<br><br>空気量測定 of 試験基準を、「荷下ろし時」に訂正。 | (Ⅱ)294～297 |

| 番号      | 項目            | 内容  | 掲載頁   |
|---------|---------------|---|---|
| ●写真管理基準 |               |   |   |
| 10      | 写真管理基準<br>(案) | <p>準拠する要領の制定等に対応。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>TS等光波方式</u>を用いた出来形管理要領（土工編）<u>(案)</u></li> <li>・ <u>TS（ノンプリズム方式）</u>を用いた出来形管理要領（土工編）<u>(案)</u></li> <li>・ <u>RTK-GNSS</u>を用いた出来形管理要領（土工編）<u>(案)</u></li> <li>・ <u>地上型</u>レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）</li> <li>・ 空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）<u>(案)</u></li> <li>・ 無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）<u>(案)</u></li> <li>・ <u>地上移動体搭載型</u>レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）<u>(案)</u></li> <li>・ <u>地上型</u>レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）<u>(案)</u></li> <li>・ <u>TS等光波方式</u>を用いた出来形管理要領（舗装工事編）<u>(案)</u></li> <li>・ <u>地上移動体搭載型</u>レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）<u>(案)</u></li> <li>・ <u>TS（ノンプリズム方式）</u>を用いた出来形管理要領（舗装工事編）<u>(案)</u></li> </ul> | <p>(Ⅱ)412</p> <p>(Ⅱ)415</p> <p>(Ⅱ)418</p> <p>(Ⅱ)427～429</p> <p>(Ⅱ)437～458</p> |
| 11      | 写真管理基準<br>(案) | <p>削除</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上層路盤における「プルフローリング」撮影項目の削除</li> </ul>   | (Ⅱ)420  |

### 3. 共通仕様書(土木工事編Ⅲ)

| 番号 | 項目                  | 内容  | 掲載頁            |
|----|---------------------|---|----------------|
| 1  | レディーミクストコンクリート配合計画書 | <p>名称の訂正</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「配合報告書」 から 「配合計画書」 へ訂正</li> </ul> | (Ⅲ)11, 16, 52, |
| 2  | 保安施設設置標準図一覧表        | <p>削除</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一覧表から「A-5」について削除</li> </ul>          | (Ⅲ)169         |